

平成 30 年 10 月 吉日

会 員 各位

長野県病院薬剤師会
長野県薬剤師会病診部会
会長 神 田 博 仁

「情報交換会」開催のご案内

秋涼の候、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は県病薬、県薬病診部会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。さて、今年度も 10 回目となります、業務別「**情報交換会**」を開催いたします。是非とも多くの皆様にご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。開催内容は以下の通りとなります。

1. 情報交換の「テーマ」は昨年度のアンケート結果等々を考慮し 8 テーマを選びました。
2. 事前にテーマ（裏面参照）をお知らせし情報交換がしやすいように致しました。
3. 「情報交換会」の内容はポスターにして会場に掲示いたします。情報交換会に参加できなかった会員の方々にも、ポスター紙面を通して連携・情報共有「つながる」を意識していただけたと考えています。

【趣旨】 ①県内病院薬剤師の業務の質を高め、②連携強化「つながる」を推進し、③よりよい医療に貢献するために、「Face to Face で話をする」ことで、困ったことを気軽に聞くことの出来る仲間を（人脈を）作りたい！」「県内各病院のよい取り組みを、全体の取り組みにしたい！」 → 県内の病院薬剤師が集まって気楽に情報交換する場を作ろう！というのが「情報交換会」開催の主旨となります。

【方法】 8 のテーマ「①管理（マネージメント）」「②安全対策」「③感染制御」「④病棟薬剤業務」「⑤がん・緩和」「⑥災害・救急」「⑦中小病院」「⑧若手（ネクストジェネレーション）」について、グループミーティング（Communication）を行います。

- ・ 結論を出すことが目的ではなく、フリーな情報交換会です。
- ・ エキスパートのみならずビギナーも含めて、気楽な情報交換会です。
- ・ 唯一のルールは「人の意見を良く聞き、批判しない事」、楽しくがポイントです！

【日程】 11 月 17 日（土）13：00～14：30 「新人研修会」と並行して開催致します。

【参加申込み】 学術大会出席者通知書に、「情報交換会」参加希望テーマの第 1 希望・第 2 希望を記載してください。参加希望者数により「テーマ」については、第 2 希望となること、コラボレーションすることもあります。その際にはご了承ください。

*当日も参加を受け付けますが、人数把握（グループ分け）のため事前に申込みをしていただきますようお願い申し上げます。「情報交換会」についてご意見（話題にしたいこと）等ございましたら、業務委員長までご連絡ください。

以 上



業務委員長 清原健二（新生病院）
電話番号：026-247-6166（薬局直通）
E-mail：k.kiyohara@newlife.or.jp

2018年度「情報交換会」のテーマ

気楽に業務における悩みや・分からない事など、テーマに沿って意見「情報」交換しませんか？
他施設の取り組みを聞かせていただくことで、いろいろと参考になったり、解決へのヒントが見つかるかもしれません。「特別講演」から参加しようと考えている皆様も、少し早めに出発していただき「情報交換会」への参加を是非ともご検討ください。

病院の大きさ・業務経験の垣根を越えて「つながり」ましょう！

若手・中堅の先生方も気楽にご参加ください。



	テーマ	テーマのご案内
1	管理 (マネージメント)	薬剤部門のマネジメントを再考しよう 今年度の診療・介護報酬同時改定、薬価改定から約半年・・・対応できた部分はあるものの課題として残っている部分をどうするか悩みは尽きません。また、厚生局立入調査、保健所による立入検査、機能評価等においても最新の情報は不可欠です。薬剤部業務全般(人材確保、育成・・・など)についてのマネジメントを他施設の取り組みなど情報交換しながら考えてみませんか。役職に付いた方、横のつながりづくりには是非ともご参加ください。
2	安全対策	医薬品の安全使用について話し合いましょう 医薬品の安全対策において、安全管理の指針に加え、医薬品の安全使用のための業務手順書の整備が必要です。さらに、医薬品に係る副作用・事故等の有害事象の早期発見・重篤化防止対策の確保に加え、薬剤に係る情報共有のための院内関係者・保険薬局との十分な連携が求められています。その他、安全対策、医薬品の適正使用等々について困っていることを話し合いましょう。
3	感染制御	「薬剤耐性(AMR)対策」進んでいますか？ 今年度の診療報酬改定で抗菌薬適正使用支援加算(100点)が新設され、抗菌薬適正使用チームを中心にAMR対策がますます求められています。各施設、AMR対策アクションプランに示された抗菌薬使用量の数値目標に向けて様々な取り組みをされていますが、進捗状況はいかがでしょう？「まだ何もできていない・・・」、「どうしたらいいかわからない・・・」なんて施設もあるのでは？まだ間に合います。日頃から困っていること、ざっくばらんに話し合いませんか？
4	病棟薬剤業務	一步進んだ「病棟薬剤業務」を目指して 病棟業務(薬剤管理指導業務・病棟薬剤業務実施加算)において、薬剤師に対する期待に比例し、関連する業務量も増加する一方です。他施設では如何に対応しているのか？業務の効率化を検討していますか？ICT(Information and Communication Technology)等のツールを利用していますか？RMP(Risk Management Plan)の利活用は進んでいますか？現況の問題点(悩み)お話しいただく中で、解決の糸口を探してみましょう。
5	がん・緩和	医療倫理について話し合いませんか？ 厚生労働省が「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を本年3月に公表し、各施設ともガイドラインに則した医療倫理ガイドラインの改定を進めていることと思います。「終末期医療」から「人生の最終段階における医療」へ名称が変更され、人生の最終段階における医療・ケアについて大きな指針が示されました。ここで一度立ち止まり、人生の最終段階における薬剤師のあり方について話し合いませんか？
6	災害・救急	災害が各地で発生しています 今年(2018年)9月現在、大阪北部地震、2018年7月豪雨(通称:西日本豪雨)、記録的猛暑、北海道胆振東部地震・・・そして本県においても5月に北部でM5.2の地震がありました。もはや災害は身近な出来事です。事前準備が重要なことは言うまでもありませんが、薬剤部門としても迅速かつ的確な応急対策を講じつつ、短期間で平常業務へ復帰する体制を構築する必要があります。その他、災害派遣医療チーム(DMAT、DPAT)への参画における課題など話し合いましょう。
7	中小病院	「中・小規模医療施設」は課題がいっぱい 2025年問題が7年後に差し迫る中、国は地域医療包括ケアシステムを推し進め、チーム医療を通じて病院と地域がシームレスな医療を展開できるよう検討し続けています。そのような状況で、人もない、金もない、時間もない(?)中・小規模医療施設に求められる課題は加速度的に増える一方です。さあ、悩みを話し合いませんか？
8	若手 (ネクストジェネレーション)	我こそは次世代！まずは仲間作りからしませんか？ 情報交換会には興味はあるけど、自分はまだ若手だからちょっと参加しづらい・・・、他の若手病院薬剤師さんとお友達になりたいけどなかなか機会がない・・・、自分が持っている悩みを同年代に聞いて欲しい・・・などなどお持ちではありませんか？今回、そんな若手薬剤師の皆さんをつなげる為のテーマを新設！！年齢制限は(おおむね)35歳以下で、テーマは「ミライの薬剤師」です。さあ、新調した名刺片手に、横のつながりしてみませんか？